



学校だより

阿見No. 1

あみいち!

令和6年7月1日(月)

2024年度 第3号

阿見町立阿見第一小学校

(文責 宮崎 淳司)

コミュニティ・スクールを導入しました

○コミュニティ・スクールとは

- ・学校運営に地域が参画することで、学校・保護者・地域のみなさんが力を合わせて学校の課題を解決し、地域と学校が一体となって特色ある学校づくりを進めています。
- ・2017年3月に法律が改正され、教育委員会がコミュニティ・スクールを導入することについて努力義務とされました。阿見町では令和3年から導入を始めました。これまで、阿見第二小学校と君原小学校が導入しており、今年度は舟島小学校と本校が導入しました。今後、町内全ての小中学校で導入される計画です。
- ・コミュニティ・スクール導入のために、「学校運営協議会」という組織を設置します。この協議会を通して、学校と地域が学校運営の目標・ビジョンを共有し、共に力を合わせて学校運営に取り組みます。

○コミュニティ・スクールにより期待される効果

＜子供たち＞

- ・学びや体験活動の充実
- ・安心安全な活動
- ・地域の担い手としての自覚が高まる
- ・ふれあいを通してコミュニケーション能力の向上

＜学校＞

- ・地域の理解と協力を得た学校運営
- ・地域の支援による充実した学校運営
- ・地域の協力により子供と向き合う時間の確保

＜保護者＞

- ・学校や地域に対する理解の深まり
- ・保護者同士や地域の人との人間関係の構築
- ・地域の中で子供たちが育てられている安心感

＜地域の人々＞

- ・生きがいや自己有用感の高揚
- ・学校が社会的つながり、地域のよりどころになる
- ・学校を中心とした地域ネットワークの形成
- ・地域の防犯・防災体制等の構築

○阿見第一小学校の学校運営協議会について

- ・3名の区長さん、かすみ公民館の社会教育指導員、PTA会長、ありすの会・おやじクラブの代表の方、昨年までの学校評議員、4名の学校職員が委員となりました。
- ・今年度は、教育目標である「笑顔と活気にあふれる学校」の実現のために「あみいち秋まつり」の実行委員を地域から募集して、学校・保護者・地域の力で祭りを成功させる方針です。
- ・ありすの会による読み聞かせ、おやじクラブによる体験活動もコミュニティ・スクールの取組とし、スタッフ不足を地域の力で解消したいと思います。